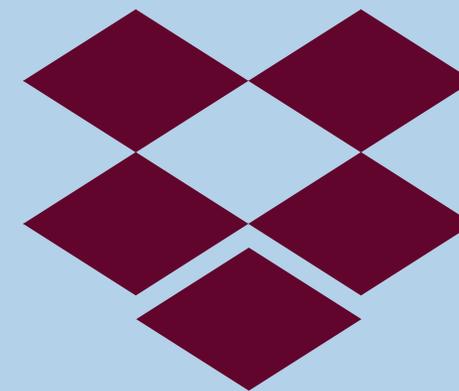


Dropboxで実現する 働き方改革と生産性向上

Dropbox Japan株式会社



Agenda

1. **会社紹介**
2. オンプレファイルサーバーからクラウドストレージへ
3. Dropbox が選ばれる理由
4. 事例紹介
5. 導入に向けて
6. 本日のまとめ

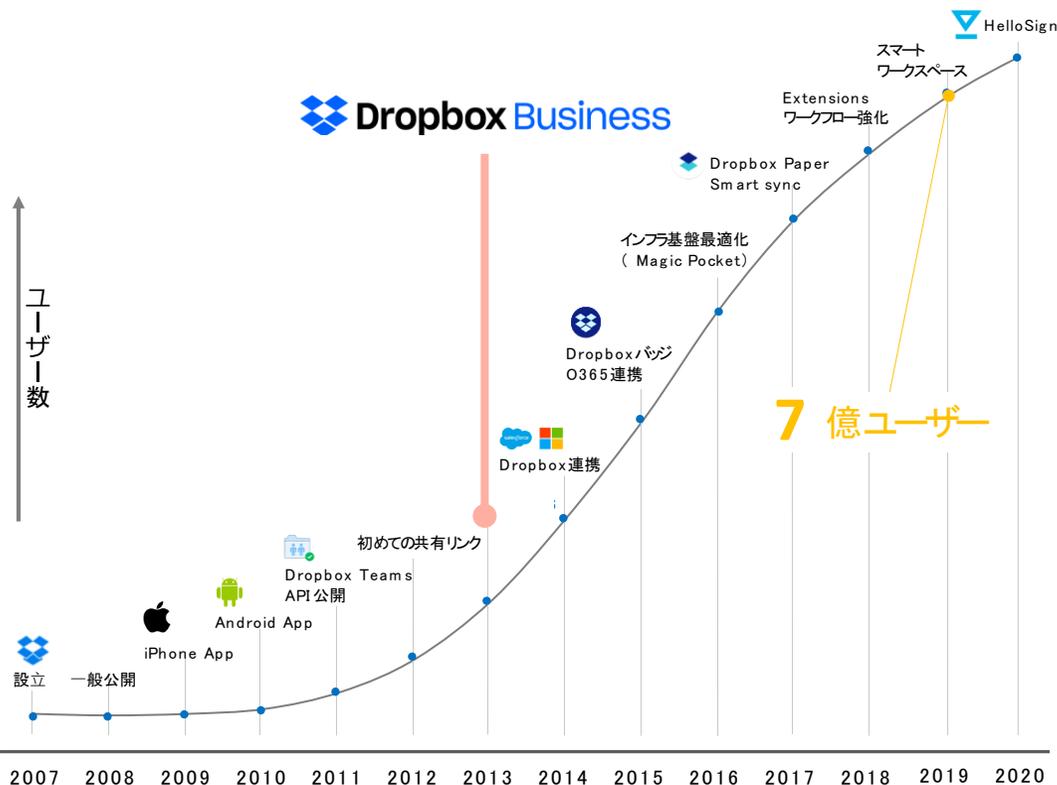
会社紹介

Dropboxの使命はスマートな働き方をデザインすることです

- 世界最大規模のクラウドストレージ専門ベンダーであり、時価総額1兆円を超える

7億人以上のユーザー数でクラウド業界を牽引

国内データセンターを開設し日本へ注力



名称

Dropbox Japan株式会社

Dropbox, Inc.

オフィス

東京, 大阪

本社：米国サンフランシスコ

設立

2014年9月

2007年6月
※ 2018年NASDAQ上場

代表者

代表取締役社長
梅田 成二

最高経営責任者
Drew Houston

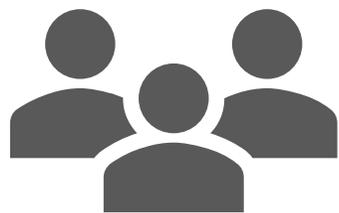
売上高

非公表

24.2億ドル (約3,300億円)
※2022年度

Dropboxの使命はスマートな働き方をデザインすることです

- 近年はビジネスワークフロー全体のご支援へ拡大



ユーザー数

7億+



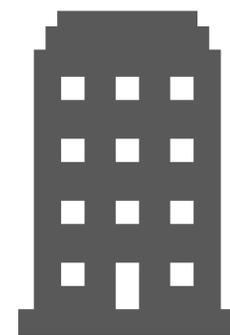
利用国数

180カ国



導入組織数

60万



Fortune500

56%

会社紹介

業界問わず多くの国内企業様へご導入

製造



メディア



テクノロジー



大学・教育



小売・流通



プロフェッショナルサービス



建設/土木



Dropboxは、自らの働き方を率先して変革しています

- Dropboxの使命であるスマートな働き方の実現に向けた、“バーチャル・ファースト”

同期と非同期の 使い分けルール



- 同期：会議、電話
- 非同期：e-mail、chat、doc
- 同期と非同期のリズムを作る
- 会議は3D (discussion, debate, decision making) に絞る

Dropbox Studio



- 出勤するための「オフィス」ではない
- 社員同士のコラボ、チームビルディング、お客様との打ち合わせのためのスペース

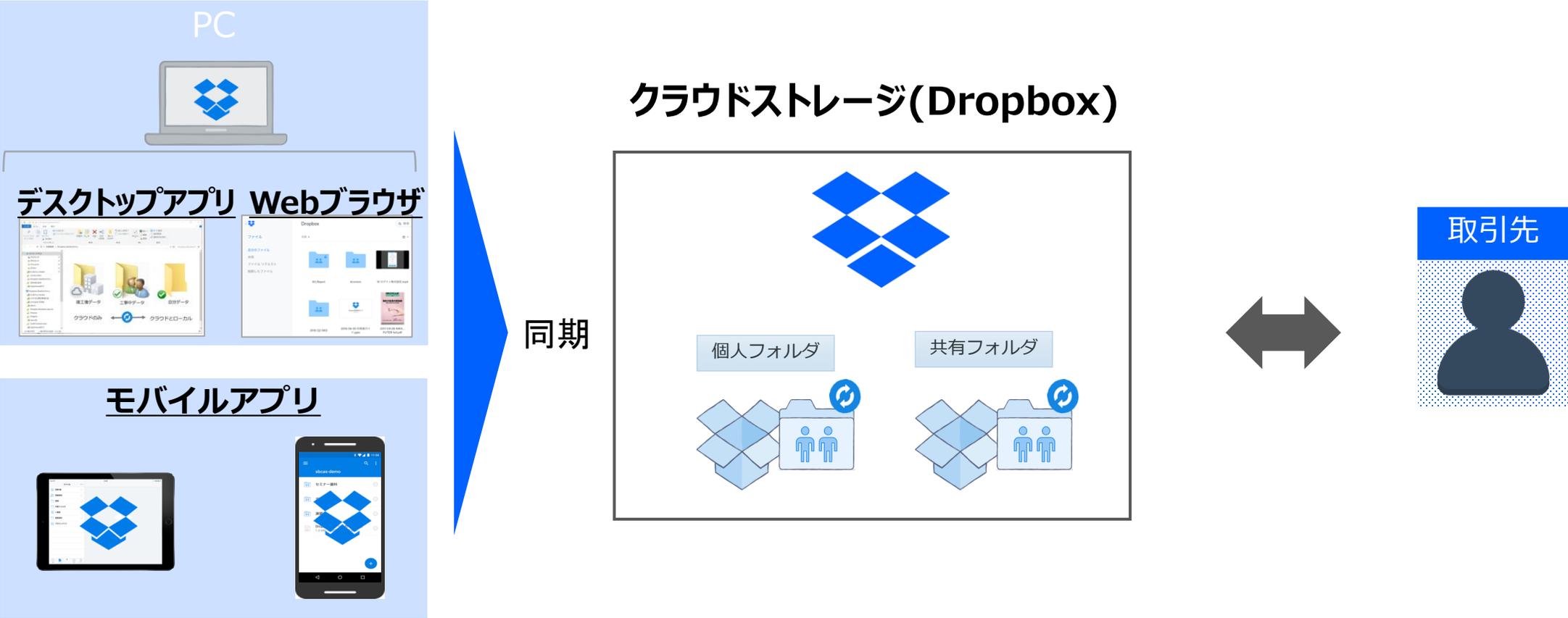
バーチャル・ファースト ツールキットの公開



- リモートワークに関する様々な原則をまとめたオープンソースのガイド
- バーチャルファーストの実践から学んだ知見に基づいて随時更新

Dropbox のイメージ

- Dropboxを使えば必要なファイルやフォルダにいつでもどこからでもアクセスできます。



Dropboxの機能全体像

①ファイルサーバクラウド化



- 変わらない操作性
- チームフォルダ
- 選択型同期
- スマートシンク
- 他社サービス連携
- 日本データセンタ

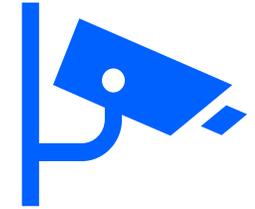
- 共有リンク
- 共有フォルダ
- Dropboxトランスファー
- ファイルリクエスト
- Email to Drobox
- Docsend※別製品

②生産性向上



- プレビュー&コメント
- バッジ / ファイルロック
- Dropbox Paper
- Dropbox Capture
- Dropbox Sign※別製品
- Dropbox Reply※別製品
- 全文検索機能

③データ保護とBCP



- バージョン履歴と復元
- 削除ファイル一括復元
- Dropbox バックアップ
- データガバナンス※Addon

- 管理コンソール(レポート)
- ユーザー管理
- アクティビティログ
- アラート機能
- アクセス権設定
- 共有権限設定
- 二段階認証
- 遠隔削除
- ファイル単位イベントログ※
- ランサムウェア検知復元※
- デバイス承認※
- 代理ログイン※
- SSO連携※ ※Advanced 以上

- ❖ Docsend※別製品：ファイル共有後の閲覧履歴等分析ツール
- ❖ Dropbox Sign※別製品：法的拘束力を持つ電子署名
- ❖ Dropbox Reply※別製品：動画データ編集やコミュニケーション

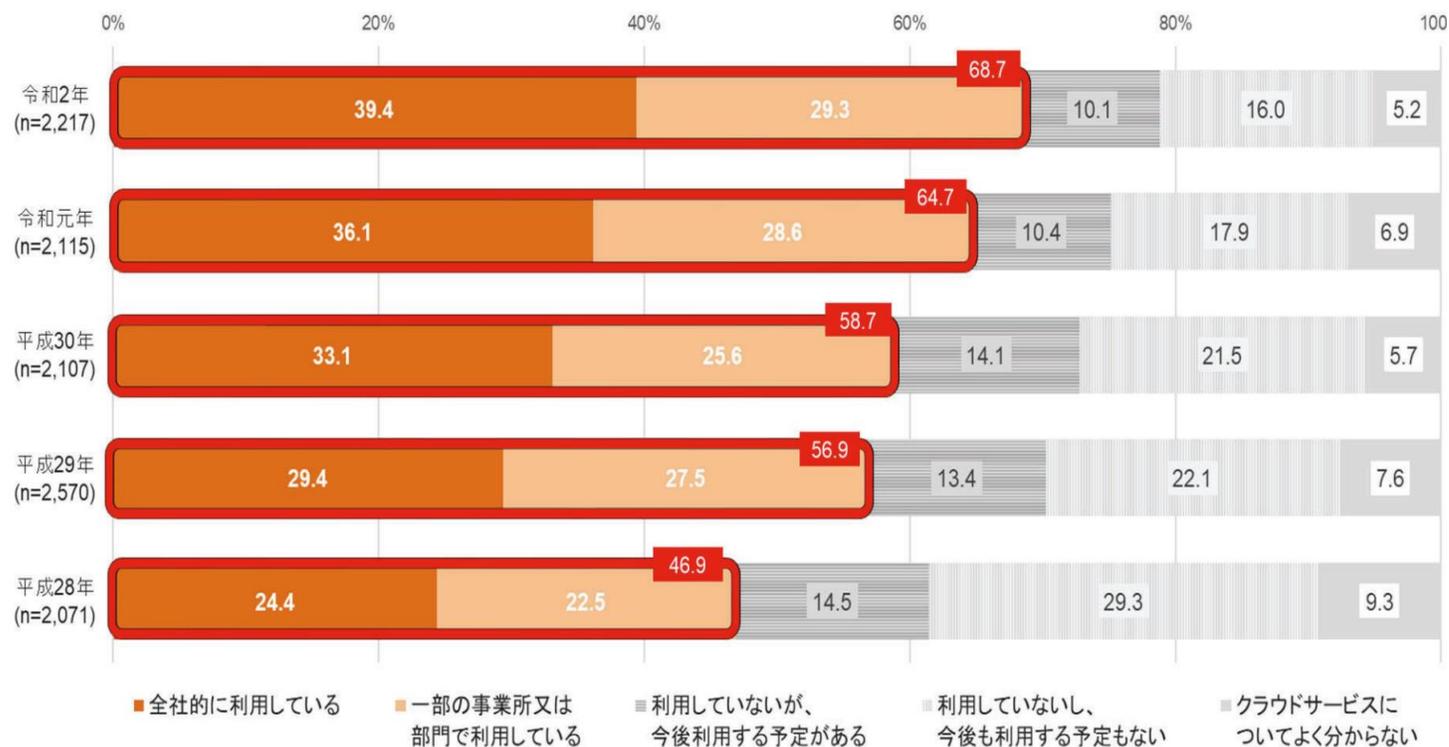
Agenda

1. 会社紹介
2. **オンプレファイルサーバーからクラウドストレージへ**
3. Dropbox が選ばれる理由
4. 事例紹介
5. 導入に向けて
6. 本日のまとめ

法人企業にとってクラウドサービスはもはや必須ツールに

- 毎年クラウドサービスの利用状況は伸長。コロナ禍を経てさらに増加していると予想される。

クラウドサービスの利用状況の推移

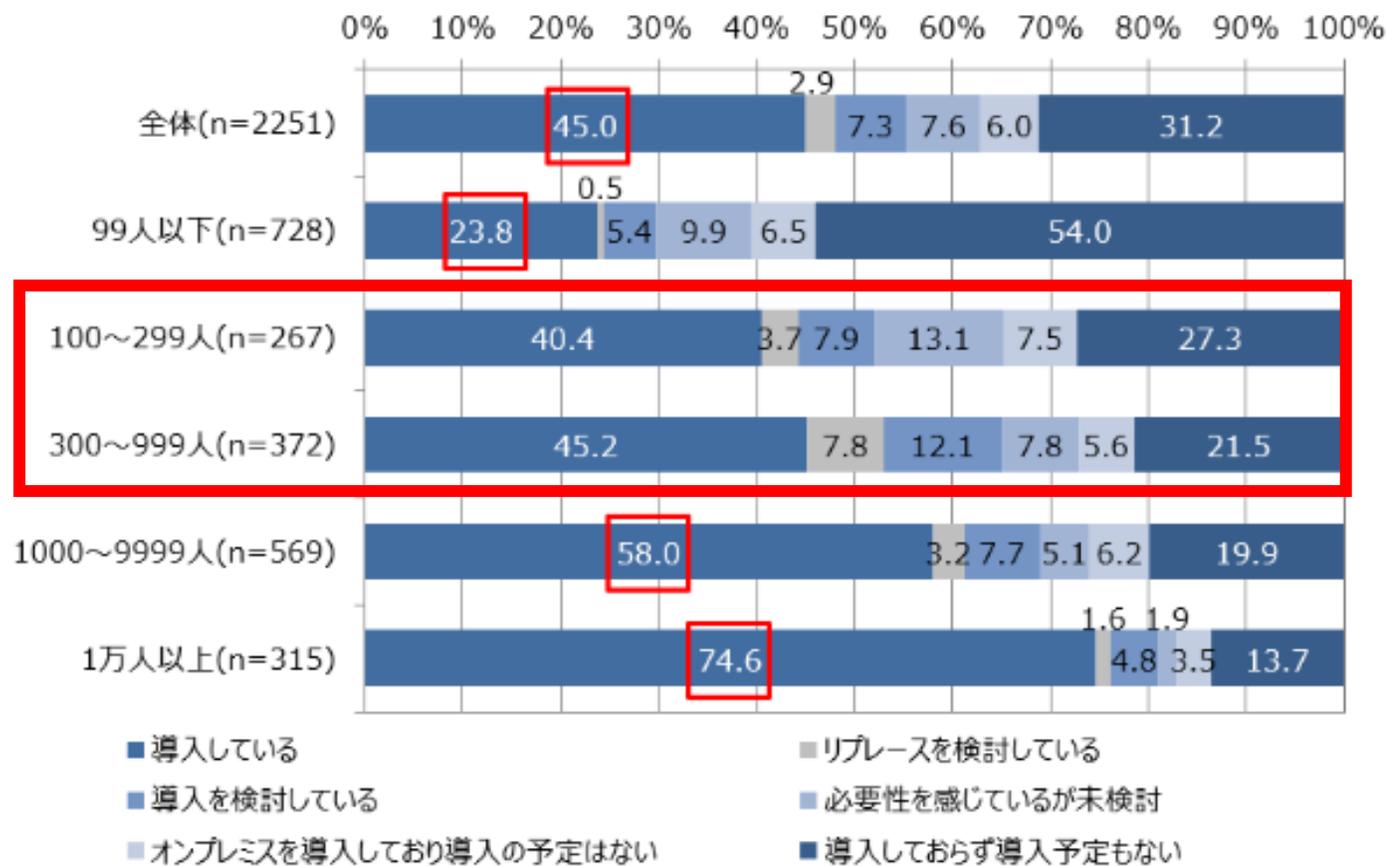


コロナ禍初期の調査において、**約7割**の企業がなんらかのクラウドサービスを利用と回答

ファイルサーバのクラウド化は急速に進展

- 情報共有の根幹をなすストレージの利用率は上がってきている。
- 背景には「リモートワーク」「法対応」「DX」「ペーパーレス」等のワード、検討が急速に進む領域。

クラウドストレージ従業員規模別 利用状況



クラウド化によりIT管理者の業務負担を大きく軽減します

- Dropboxの利用により、既存ファイルサーバーの運用業務を削減できるため、運用負担は半減します。

運用業務	ファイルサーバーの場合	クラウド化(Dropbox)の場合
ストレージ容量の追加	HDD増設で対応	実質容量無制限 ※
ハードウェアの故障対応	都度復旧作業を実施	クラウド側で対応
OSのメンテナンス	定期的なアップデートやパッチ適用	クラウド側で対応
データのバックアップ	定期的なバックアップ、都度リストア	クラウド側で対応
セキュリティ対策	セキュリティソフトのインストールと更新	クラウド側で対応
リプレイスやバージョンアップ	サポート終了に伴う入れ替え	クラウド側で対応
データの復旧	管理者のみ復旧可能	ユーザー自身で復旧が可能に
ユーザーの管理	AD連携もしくは管理者が作成	AD連携やグループマネージャーに委譲
フォルダ管理	フォルダ設計・作成	フォルダ設計・作成
アクティビティ監視	ログ監視など	ログ監視など
外部との共有設定	機能なし	外部共有設定と管理
ライセンス管理	なし	追加購入など

完全に不要化

負荷を低減

従来通り

機能追加に伴う追加業務

クラウドストレージ選定時に見落とししがちな10のチェックポイント



1

ネットワーク負荷を考えていますか？

大人数で使うと、パフォーマンスに影響が出るクラウドストレージも存在します。事前に検証しておきましょう。



2

内外と簡単にファイルの共有ができますか？

クラウドストレージでも、社外とのファイル共有に使いやすさやセキュリティの面で問題のあるソリューションも存在します。事前に検証しておきましょう。



3

ファイルサーバの代替となりますか？

そのクラウドストレージは、権限設定など十分な管理が可能でしょうか？事前に拡張性を考慮しておきましょう。



4

十分なガバナンスを効かせることができますか？

監査ログのカバー範囲や保持期間は十分ですか？現在の利用状況は把握できますか？また、フォルダへのアクセス管理が簡単であることも重要です。複雑だと活用されなかったり、設定ミスが発生したりすることもあります。



5

その他サードパーティとの連携機能は充実していますか？

社内にはいろいろなワークフローがあります。それらの業務で活用しているクラウドサービスとの連携機能が充実していることが大切です。クラウドサービスには、例えばSalesforce、Slack、Zoom、Adobeなどが挙げられます。



6

データの全文検索機能は十分ですか？

検索機能が不十分だと、ファイルを探すことに多くの時間に費やしてしまいます。事前に全文検索機能の有無を確認しておきましょう。



7

ユーザーへの教育が簡単ですか？

導入しても使いにくかったり、利用するための教育コストが高すぎたりしては、本当に活用されるクラウドストレージになり得ません。



8

対応するデバイスやOSは適切ですか？

現場では、さまざまなデバイスが活用されている可能性があります。全社的な観点で事前に考慮しておきましょう。



9

ライセンスはシンプルですか？

そのクラウドストレージは、ユーザー数、データ量などに応じたわかりやすいライセンス体系を備えていますか？コスト計算をしやすいツールであることが重要です。



10

自社でもっとも使われているファイルのプレビューに対応していますか？

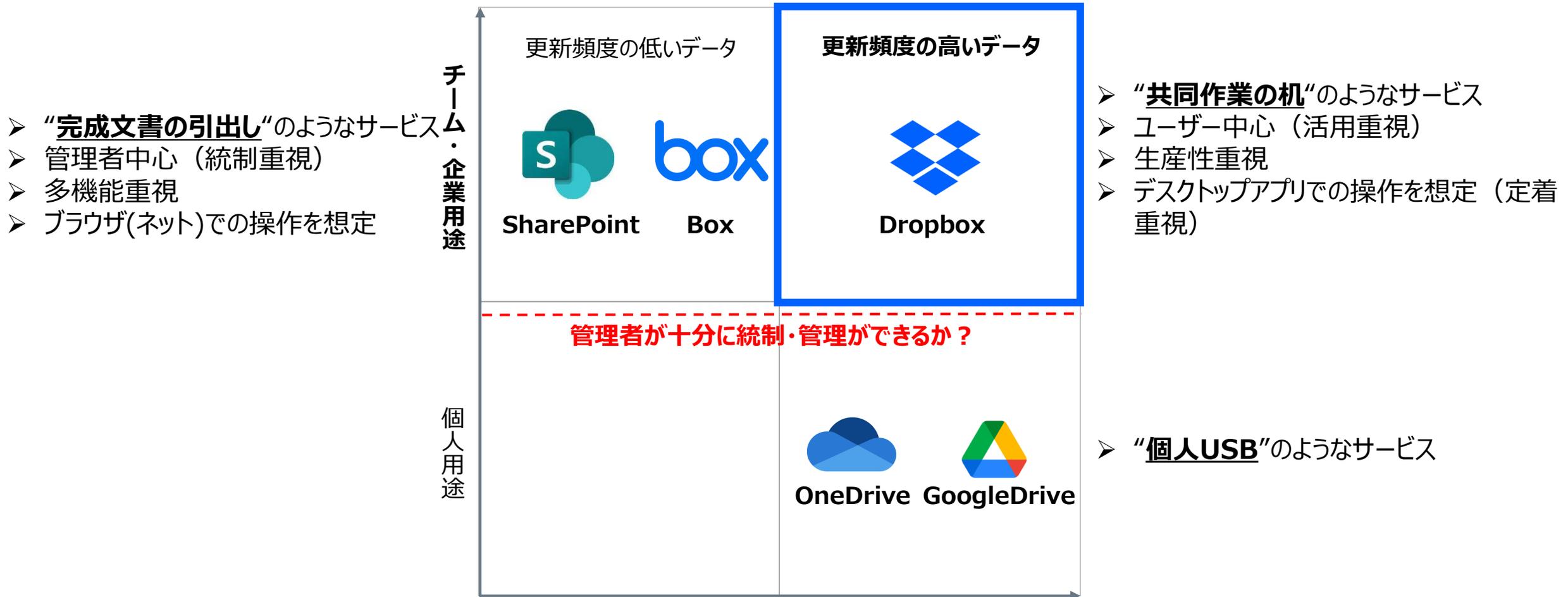
クラウドストレージのメリットの一つに、専用ソフトが無くてもファイルのプレビューを可能にしてくれることがあります。よく使われるファイルの例として、例えばAdobeのPhotoshopやIllustrator、CADファイルのDWGなどが挙げられます。

Agenda

1. 会社紹介
2. オンプレファイルサーバーからクラウドストレージへ
- 3. Dropbox が選ばれる理由**
4. 事例紹介
5. 導入に向けて
6. 本日のまとめ

クラウドストレージにおけるDropboxのポジショニング

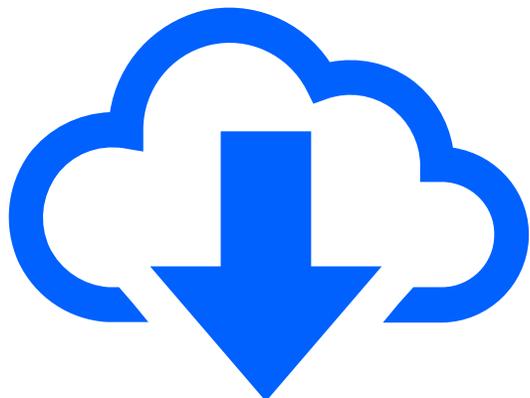
- Dropboxはその属性から「ファイルサーバーリプレイス」の提案テーマに最も力を発揮するクラウドストレージです
- また、「ファイル共有ツール」機能も包含し、よりデータ保護や生産性向上に資する機能を有しています。



Dropboxが提供する3つの価値キーワード

- 独自特許 & 確固たる技術的優位性がもたらすDropbox独自の強みは3点に大別される

①ファイルサーバクラウド化



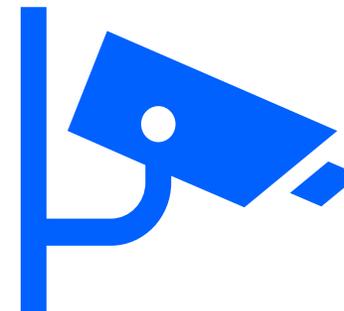
- ✓ 同等のアクセス権設定
- ✓ 変わらないデスクトップアプリ

②生産性向上



- ✓ 大容量ファイルの取り扱い
- ✓ 圧倒的速度
- ✓ 高度な全文検索

③データ保護とBCP



- ✓ 世代無制限のバージョン履歴
- ✓ フォルダ単位の巻戻し機能
- ✓ Dropbox Backup



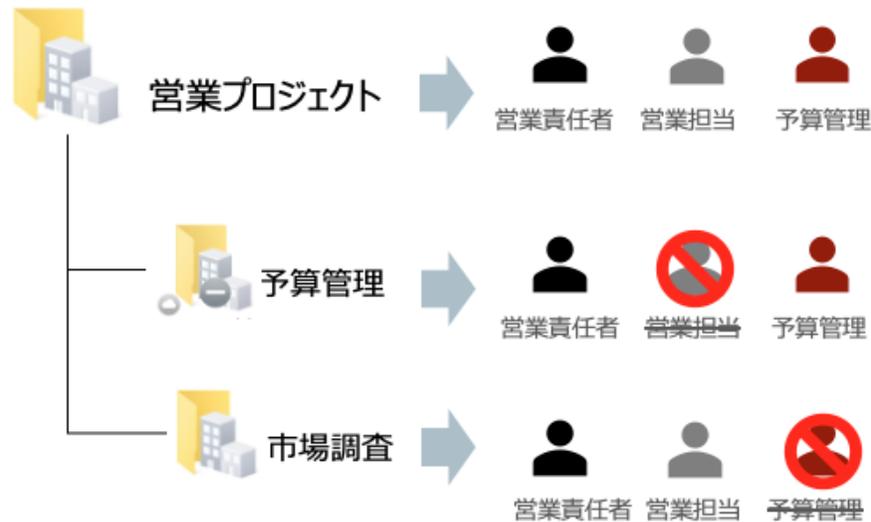
強固なセキュリティ

Dropboxの強み

①変わらないストレージ操作 - 定着化に最も重要な“操作性”

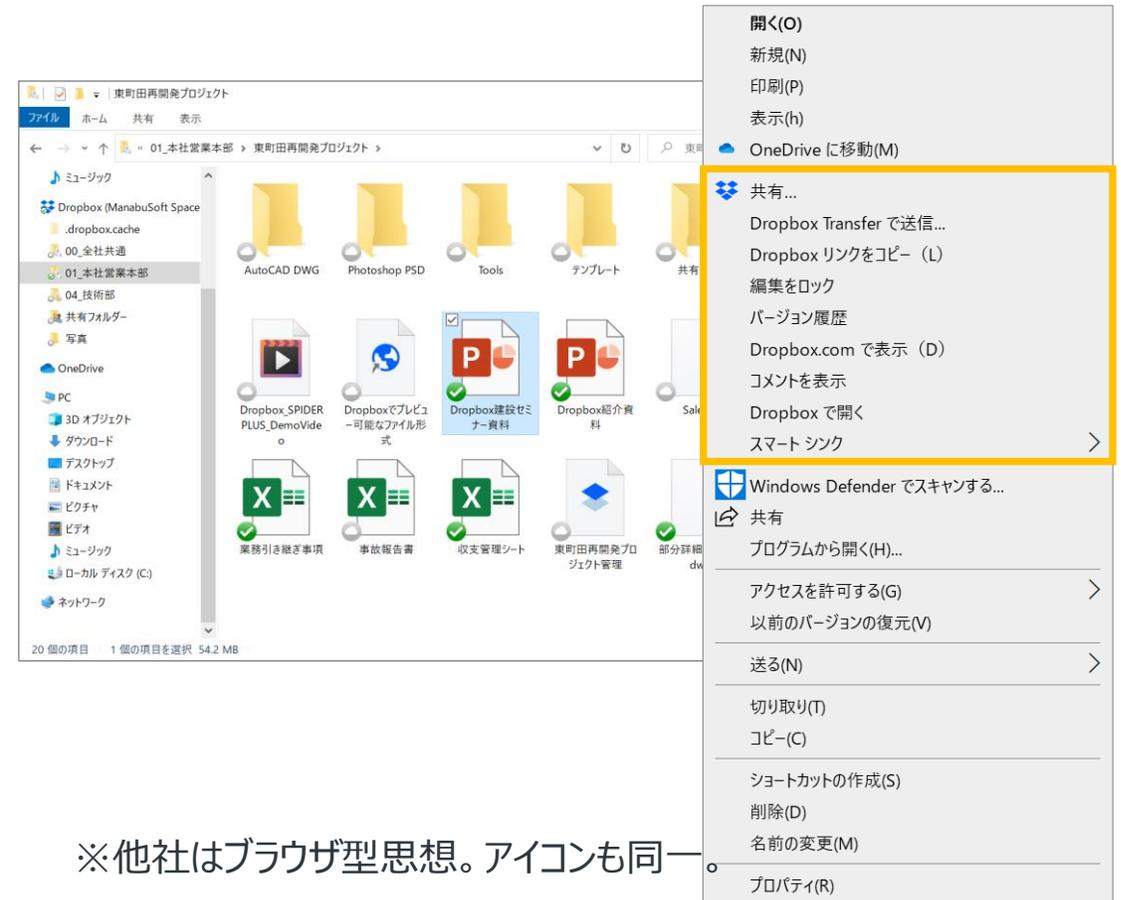
- 一般ユーザ向けサービスを起点とした定着化への強いこだわり

①-1.ファイルサーバーと同等の柔軟なアクセス権



※他社では引き算(削除)が不可のため従来の運用ができない。

①-2.変わらないデスクトップアプリ+右クリック



※他社はブラウザ型思想。アイコンも同一。

Dropboxの強み

②-1. 生産性向上 – 高い技術基盤が可能にする“大容量ファイル”の扱い

	 Dropbox	 box	 Google Drive	 OneDrive
➤ 大容量ファイルのアップロード	✔ 上限2TB	✘ 上限150GB	✔ 上限750GB(日) 計5TB	✘ 上限250GB
➤ 簡単な大容量ファイル添付	✔ Transferで 100GBまで 送付可能	✘ 該当機能なし	✘ 該当機能なし	✘ 該当機能なし
➤ バージョン管理世代上限	✔ 上限なし (期間のみ)	✘ 制限あり 最大100version	✘ 制限あり	✘ 制限あり

※2023年12月時点、弊社による各社Webサイト情報調査

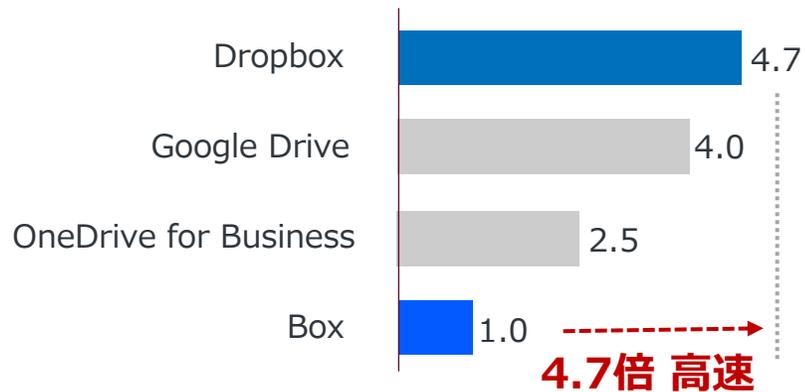
※他社ではモデリングデータ（CG、3D CAD、BIM、CIM）、各種計測データ（点群データ）、センサーデータ、ログデータ、社内研修動画等、1ファイルあたり数十GBを超えるデータを保存ができない。

Dropboxの強み

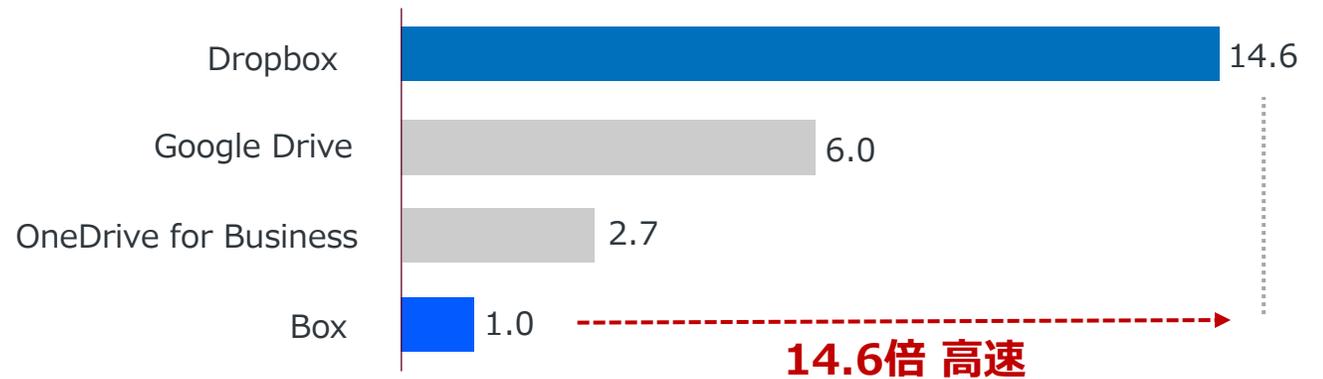
②-2. 生産性向上 – 高い技術基盤がもたらす“圧倒的速度”

- 回線が細い現場でも対応可能。また、同期途中で切れてもその時点から再開。
- さらに、Dropboxデスクトップアプリでは**帯域制限**も可能でネットワークへの負荷軽減機能も。

小容量ファイル(50KB)の場合の同期速度比較



大容量ファイル(25MB)の場合の同期速度比較



1. 差分同期



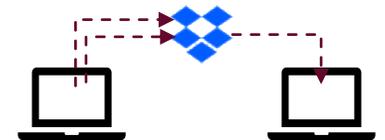
更新時の差分のみを同期、データ量を減らす (特許取得)

2. LAN同期



同じLAN配下のPC間で直接データ同期、WAN回線への負荷を削減 (特許取得)

3. ストリーミング同期



アップロード完了前から他ユーザーがDL可能

※他社では特許技術使えず速度に乖離。加えて帯域制限機能なし。

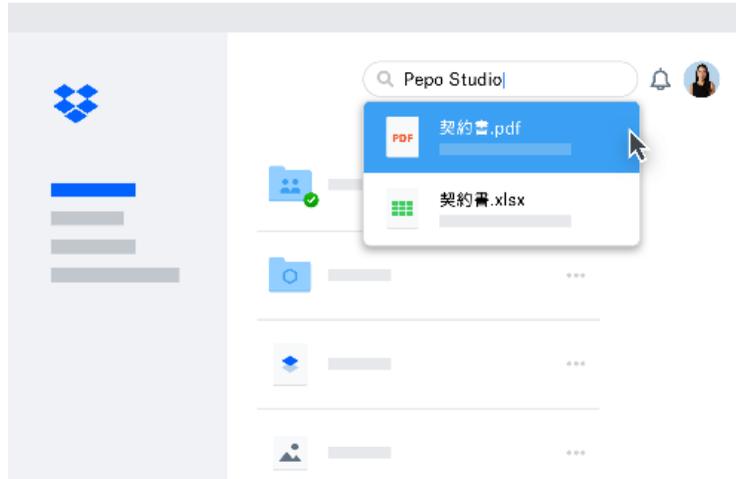
Dropboxの強み

②-3. 生産性向上 - 効率化を飛躍させる高度な“全文検索”性能

- 高度な検索 + タグ付けによる管理も容易です。

全文検索（ファイル内含む）

- ファイル名、拡張子、ファイル内のキーワード、タグでファイルの全文検索が可能（最初の5万文字が対象）
- 部分検索も完全対応（Dropbだけでok）



対応ファイル一部抜粋
.doc .docx .docm
Paper ドキュメント
.pdf .ppt .pptx .pptm
.rtf .txt .xls .xlsx .xlsm

AIによる画像検索

- Dropbox に保存している画像をAIで判断し検索



※他社ではタグでの運用が基本。なお検索対象は最初の1000文字のみ

Dropboxの強み

③データ保護とBCP – “更新頻度の高い文書”も人的ミスも保護

■ ランサムウェアも標準検知です。(Licenseによる)

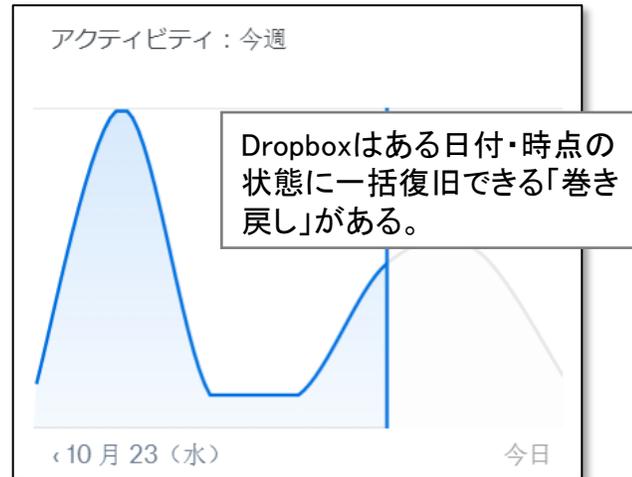
③-1. 世代無制限、 365日のバージョン履歴

- バージョン履歴および削除履歴を保持
(オプションで10年保存も可能)

Hirose Tomoyuki さんが編集... デスクトップ	504.7 MB	最新バージョン
Hirose Tomoyuki さんが編集... デスクトップ	505.58 ...	復元

③-2. 管理者による 巻き戻し機能

- フォルダごと過去の状態に一括復元可能



※他社ではフォルダ単位は不可。
サポート問合せで数日要する。

③-3. Dropbox Backup

- PCのデスクトップ、ダウンロード、ミュージック、写真、動画、外付けHDD等が対象

Dropbox Backup で他のファイルを保護

損失や損害があった場合でもアクセスできる安全なフォルダへパソコンのファイルを自動的にコピーします。

Backup ではファイルの共有や編集をサポートしていません。詳細を表示

- デスクトップ
- ドキュメント
- ダウンロード

+ 詳細

設定 後で

プロジェクト アーカイブ 履歴書

作業中ファイル

※他社では“バージョン数”での保管制限があり、
頻繁に更新されるファイルはすぐに制限に直面。

Dropboxのセキュリティへの取り組み

- 情報セキュリティとは、企業の情報システムを取り巻くさまざまな脅威から、情報資産を機密性・完全性・可用性の3要素の確保を行いつつ、正常に維持することである。
- Dropboxでは常に上記3要素に関してハイレベルのサービスを提供すべく努力し続けている。

データ セキュリティ	インフラストラクチャ	<ul style="list-style-type: none">✓ 分散されたセキュアでスケーラブルな環境✓ 最高水準の信頼性：N+2の冗長構成✓ 99.99999999%の年間データ耐久性（可用性担保）
	事業継続	<ul style="list-style-type: none">✓ 地理的に離れた位置にデータセンターを設置・様々なレベルでデータを冗長管理し保護✓ 各レイヤーでの定期的なデータ検査
	データ プライバシー	<ul style="list-style-type: none">✓ データの送受信の暗号化(SSL/TLS)・ストレージ内でのAES 256ビットによる暗号化✓ ISO27018・GDPR取得済み
管理機能	アカウント管理	<ul style="list-style-type: none">✓ SSO連携・AD/Azure AD連携でのアカウント管理機能（機密性担保）✓ 2要素認証機能
	デバイス管理	<ul style="list-style-type: none">✓ デバイス台数・接続承認機能✓ 端末紛失時の遠隔削除機能
	アクティビティ管理	<ul style="list-style-type: none">✓ 180種類以上の細かいアクティビティログ✓ SSO製品と連携して様々な制御が可能（ローカルへコピー禁止など）
	アクセス管理	<ul style="list-style-type: none">✓ チームフォルダはフォルダ毎に共有ポリシー設定できる✓ 共有リンク・フォルダ共有のポリシーを設定できる
コンプライアンス	コンプライアンス管理	<ul style="list-style-type: none">✓ SOC1、SOC2、SOC3取得済み✓ 政府機関や裁判所から届く情報の閲覧要請に対する対応実績を公開しています

Dropbox の紹介

Dropboxのセキュリティへの取り組み

- Dropbox では、最も広く認められている規格をお客様のビジネスや業界固有のニーズに適したコンプライアンス対策と組み合わせるとい手法を採用

取得規格	内容
ISO27001	情報セキュリティ マネジメント
ISO27017	クラウドのセキュリティ
ISO27018	クラウドのプライバシーとデータ保護
ISO22301	事業継続マネジメント
ISO 27701	プライバシー情報マネジメントシステム
クラウドセキュリティアライアンス	セキュリティ、信頼性、保証登録 (CSA STAR)
SOCレポート	SOC1、SOC2、SOC3
HIPAA/HITECH	医療情報技術に関する法律 (HITECH) を遵守
FERPA と COPPA	児童オンライン プライバシー保護
NIST 800-171	米国政府機関が定めたセキュリティ基準を示すガイドライン
Cloud Security Alliance GDPR Code of Conduct	クラウドの個人データ保護に関する認証



クラウドストレージとしての基本的機能

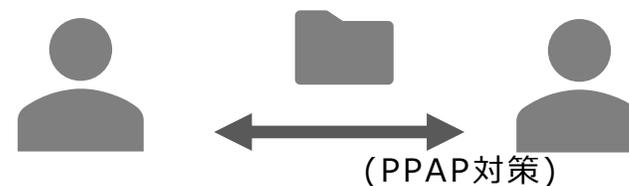
- Dropboxを使えば必要なファイルやフォルダにいつでもどこからでもアクセスできます。

プレビュー&コメント&ホワイトボード



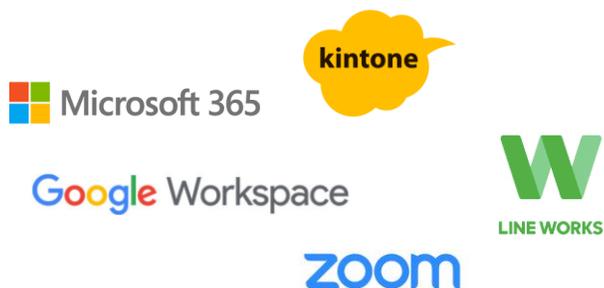
*プレビューファイル一覧は[こちら](#)

簡単かつ安全な社外ファイル共有



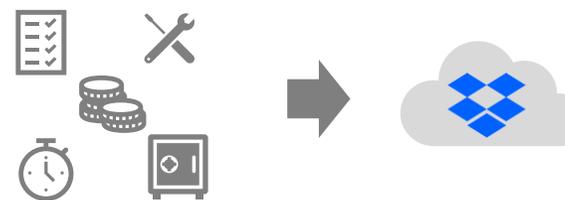
- リンク共有
- フォルダ共有
- 大容量転送 (Transfer)
- ファイル回収 (ファイルリクエスト)

他社連携



- 30万種を超える国内外のサービス連携

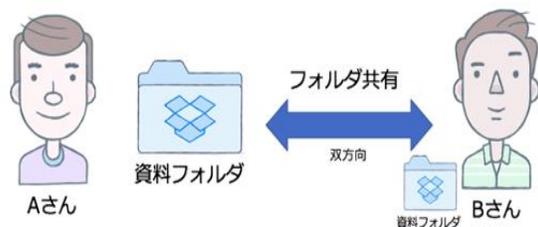
統制



- 管理コンソールであらゆる情報を一元管理、統制

その他：簡単に柔軟な4つのファイル共有機能

フォルダ共有

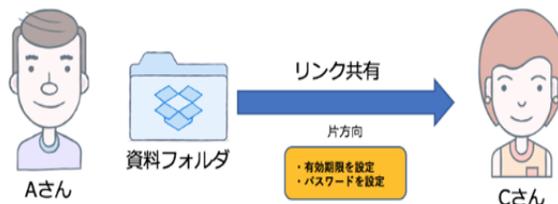


特定のフォルダ／ファイルの共有

双方にライセンスが必要

- ・ 社外ユーザーに対して、「編集可能もしくは閲覧のみ」、「異なるユーザーへの共有を禁止」する等の制御が可能。
- ・ 社内外のプロジェクトなどで製作物の共有をする場合に利用。

リンク共有



社外ユーザーとリンクによる共有

受け手はライセンス不要

- ・ リンクへのPW／有効期限／ダウンロード可否の設定が可能。
- ・ メール添付できない大容量ファイルやZIPなどの圧縮ファイルで送信できない（相手が受け取れない）データの共有に利用。

※容量無制限、有効期限1年まで任意、パスワード設定可能

Dropboxトランスファー



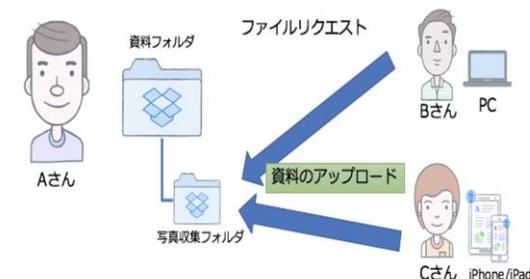
一般的な大容量ファイルをまとめて転送(a.k.a.コピーを送信)

受け手はライセンス不要

- ・ 異なる場所にあるファイル／フォルダを任意に選んでパッケージできる（100GBまで）。
- ・ 送信通知とDL通知も可能。
- ・ 既存ファイル転送ツールの代替利用、Dropbox外のファイルを送付したい場合に有効。

※リンク共有と異なりコピーの送付となる
※Std:2GB/回, 7日有効固定, Pass不可
※Adv:100GB/回, 有効期限任意, Pass可

ファイルリクエスト



回収用アップロードリンク

受け手はライセンス不要

- ・ 指定したフォルダにデータをアップロードしてもらう機能。
※アップロード側は他データが見えない。
- ・ メール添付できない大容量ファイルや、提出期限を設定したいレポートや見積収集に使える。

※50GB/回

その他：AD連携

- Dropbox BusinessとOffice365併用することで、より統一な管理環境を構築

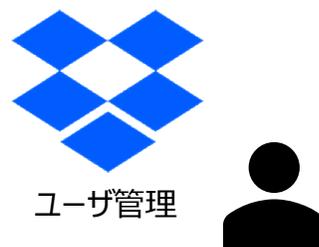
Dropbox Active Directory連携

- ✓ Active Directoryからユーザーやグループを読み取りDropboxアカウントやグループを作成・更新・削除する
- ✓ Dropbox AD Connector*はバッチプログラムでActive Directoryサーバへインストールし、タスクスケジューラーから定期的に行う

Active Directoryサーバ



Dropbox Business



ADFS/Azure AD SSO連携

- ✓ Dropbox と Microsoft Azure AD を統合すると、Microsoft Azure AD を介して Dropbox Business チームを管理することができる
- ✓ Dropbox Business チームでシングルサインオン (SSO) を設定
- ✓ Azure AD を介して Dropbox Business ユーザーのプロビジョニングやプロビジョニングの解除を管理

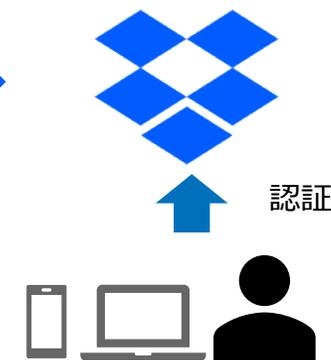
Azure Active Directory



ユーザ管理
プロビジョニング

A thick blue arrow pointing from the Azure Active Directory logo towards the Dropbox Business logo.

Dropbox Business



*Dropbox AD ConnectorはDropbox提供（無償）する、Active DirectoryとDropbox Business チームのメンバーシップを管理するツールです
<https://help.dropbox.com/ja-jp/teams-admins/admin/active-directory-connector>

その他：ランサムウェアの検知機能概要

- ランサムウェアの疑いを検知するとアラートが発報、対策を講じるよう管理者に通知が行われる。
- 最新の定義ファイルのダウンロード、パッチアップデートの実行、新しいマルウェアの亜種に対する心配は不要に。

アラート

「Hanford Inc.」の Dropbox で次の異常なアクティビティが検出されました。 [アラート](#) 「解決済み」および「却下済み」を表示
の感度と通知を管理するか、 [アラートの詳細](#) をご覧ください。

アラート	緊急度	カテゴリ	ユーザー	問題の検出日時 ⓘ	ステータス ⓘ
ランサムウェアの疑い	● 高	脅威の管理	Shindo Mariko	2022-06-13 11:11	New ...

対策は以下の通り (下部にサポート問合せも表示)

- ・ ランサムウェアを確認
- ・ メンバーを使用停止に
- ・ コンテンツを復元

アラート > ランサムウェアの疑い

状況の説明
ファイルへのアクセスを阻害する可能性のある悪意のあるアクティビティがアカウントで検出されました。

このアラートのリスク
要求額を支払うまで、コンテンツにアクセスできません。

ステータス
New

緊急度
● 高

カテゴリ
脅威の管理

問題の検出日時
2022-06-13 11:11

対策を講じる

- 拡張子を除外
- メンバーを使用停止にする
- サポートへ問い合わせる
- このポリシーを管理

ランサムウェアの拡張子
.das

MS 影響を受けるメンバー
Shindo Mariko

影響を受けたファイル数
5

- アラートの詳細を開くと、以下確認可能
- ・ ランサムウェアの疑いのあるファイルの数
 - ・ ファイルの拡張子
 - ・ 影響を受けるメンバー

アラート > ランサムウェアの疑い

疑いのあるランサムウェアに対して対策を講じる

以下の手順に沿って、チームのコンテンツの安全を確認してください。

- ランサムウェアを確認する
あなたのチーム アカウントでランサムウェアの疑いがあるアクティビティが検出されました。データを保護・復旧するための最初のステップとして、ファイルの中にアクセスできなくなったものがあるかどうかを判断する必要があります。
- メンバーを使用停止にする
アカウント内のファイルがランサムウェアによって暗号化されたと判断したら、感染したデバイスを持つメンバーの使用を停止させることが重要です。こうすることで、メンバーのデバイスが感染されていないことを確認できるまで、さらなる影響からアカウントを保護することができます。
- コンテンツを復元する
ランサムウェアのイベントを確認し、それ以上の影響を食い止めることができたなら、次はサポート リクエストを開いてファイルを復旧させます。

サポートに問い合わせるコンテンツを復元

詳しくはこちら

対策を講じる

- 拡張子を除外
- メンバーを使用停止にする
- サポートへ問い合わせる
- このポリシーを管理

Agenda

1. 会社紹介
2. オンプレファイルサーバーからクラウドストレージへ
3. Dropbox が選ばれる理由
- 4. 事例紹介**
5. 導入に向けて
6. 本日のまとめ

飛島建設様 – Dropbox を活用して定量的な生産性向上を実現

■ 建設業×ファイルサーバーリプレイス＝生産性向上



1883年創業。売上高1000億円超、従業員数1000名超のゼネコン。
トンネル工事を中心とした土木主体の企業で「青函トンネル」等の難工事を完工している。近年、「防災のトビシマ」を掲げ企業変革を推進。



「現場でいつでもタブレットを用いてDropbox上の図面データなどを確認できるようになりました。わざわざ現場事務所に戻る必要がなくなり、業務効率化も図れています。」



飛島建設株式会社
管理本部
情報システム部 課長
小澤 敦氏



飛島建設株式会社
首都圏建築支店
作業所所長
中矢 孝久氏



飛島建設株式会社
首都圏建築支店
作業所主任
田中 優祐氏

Dropbox導入前の課題



若手の成長に必要な知識や事例の共有が不足



NASデータのバックアップや故障、容量不足への対応にリソースが奪われる



膨大な資料をコピーして持ち歩いたり、何度も現場・事務所往復している



資料が現場ごとにサイロ化、同じテンプレートを複数現場が重複作成

なぜクラウドか、なぜDropboxか

クラウド型ストレージ選定の背景

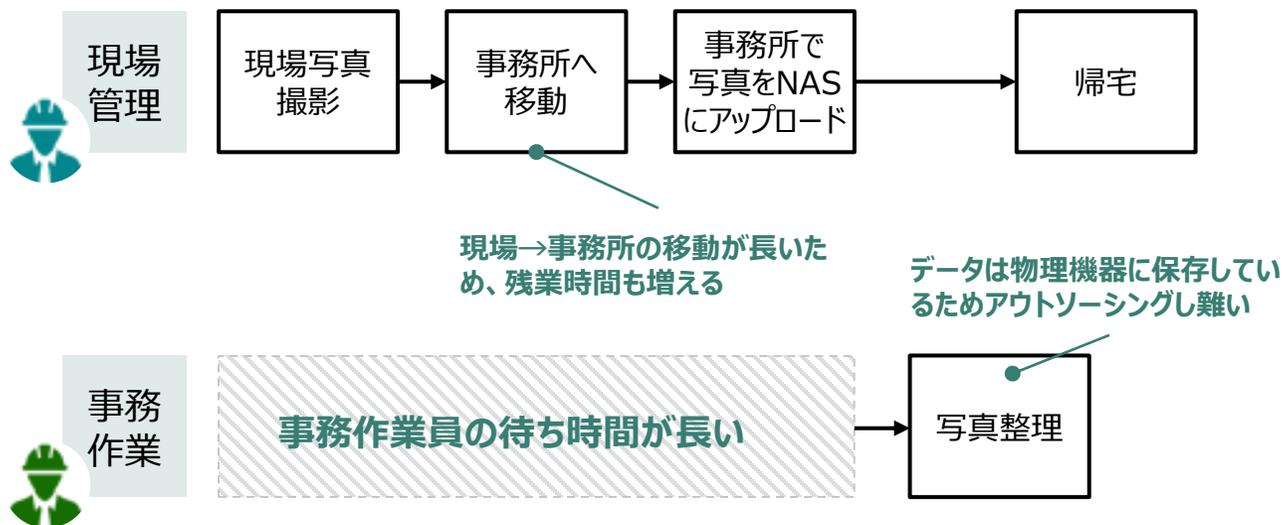
- モバイル対応
- セキュリティ
- 運用工数
- 容量拡大の柔軟性

Dropbox選定のポイント

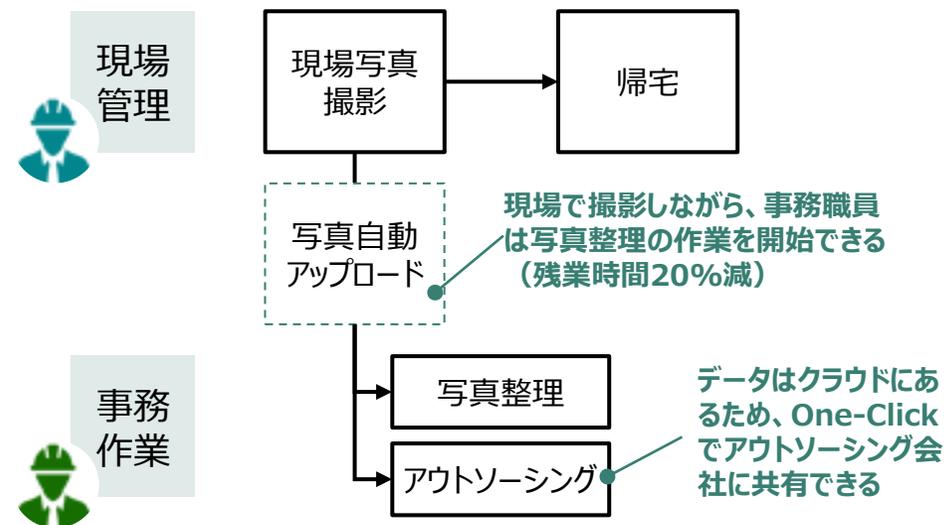
- CADデータや大容量ファイルを**高速かつ安定**してアップロードできる差分同期の仕組み
- オフライン閲覧に強い仕組み
- スマートシンク機能
- 外部連携

飛島建設様 - 働き方変革と生産性向上の詳細フロー

Dropbox導入前の働き方



Dropbox導入後の働き方



飛島建設様 –導入効果 (定性面)

- 設備や建築設計業のお客様と共通する課題が多数あります

Dropbox導入前



若手の成長に必要な知識や事例の共有が不足



NASデータのバックアップや故障、容量不足への対応にリソースが奪われる



膨大な資料をコピーして持ち歩いたり、何度も現場・事務所往復している



資料が現場ごとにサイロ化、同じテンプレートを複数現場が重複作成

Dropbox 導入後

ベテランのナレッジや過去の事例をアーカイブし、必要とする若手がいつでもどこでも入手可能

バックアップや故障、災害盗難によるデータ消失といった心配がなくなりコア業務に集中

モバイルやiPadなどから随時Dropboxへアクセスできるため、データは最新かつ印刷枚数も削減

全文検索ですぐに必要な資料を見つけるため、重複の資料作成はなくなる

飛島建設様 - 導入効果（定量面、実時間）

■ お客様ご自身で算出されたDropbox 導入の費用対効果

項目	具体的な生産性向上効果	時間短縮効果	単位
移動時間・隙間時間の有効活用	いつでもどこでもアクセスできるため、出張や顧客打ち合わせ時の移動時間や隙間時間の有効活用につながった	10	分/日・人
社内のコンテンツにフォーカスしたコミュニケーションが向上	社内の資料共有時間短縮	10	分/日・人
顧客との共同作業がよくなった	成果物をリアルタイムで共有できるため、メール・USB・CDで行っていた共有作業は短縮できた	2	分/日・人
協力会社やJVでの共同作業がよくなった	ファイルリクエスト機能で成果物の回収をもっとスムーズになった	5	分/日・人
	リアルタイムで作業中の資料を共有できる	5	分/日・人
社内の情報共有と若手社員育成	過去の施工データを関係者に公開や配付する時にNASからNASやファイルサーバーへのデータ移行作業は不要になった	0.5	時間/年・現場
IT管理の時間短縮	NAS設置や予防交換、メンテナンス作業時間の短縮	1	時間/年・人
現場-事務所間の往復時間の短縮	持ち出し用資料の印刷や、資料を確認するために事務所に戻る時間の短縮	10	分/日・人

複数顧客からのヒアリング結果、Dropboxを選んだ理由のまとめ

可用性	分かりやすい操作感	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 意識したアップロード・ダウンロード操作不要 ✓ すぐに利用開始できるため、教育時間短縮できる ✓ 様々な年齢層のユーザーに対応できる
	オンライン・オフライン 両方利用可能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 移動中やネット環境整備していない現場でも通常通り働ける ✓ 常にチームメンバーに最新の情報を共有できる
スピード	大容量ファイルの 同期スピード	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ストレスなく作業に集中できるため、仕事の効率向上できる ✓ 現場の大量の写真やBIM図面などでもスムーズに同期できる
信頼性	データ消失の 心配なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データの暗号化保存・冗長化によりセキュリティ向上 ✓ BPC対策などは充実しているためバックアップ作業は不要
	管理が簡単にできる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データは全て自然に一箇所に集めるため授受作業は簡単になる ✓ AD連携などでユーザーの管理も簡単にできる ✓ セキュリティ設定や管理は簡単にできる
	信頼できるチーム	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 営業・技術営業・カスタマーサクセスの体制で支援する

軽量・使い勝手の良さ
(エンドユーザー中心)



重量・管理の厳しさ
(プロセス中心)

Agenda

1. 会社紹介
2. オンプレファイルサーバーからクラウドストレージへ
3. Dropbox が選ばれる理由
4. 事例紹介
- 5. 導入に向けて**
6. 本日のまとめ

Dropboxがつなぐ他社とのエコシステム

- ファイルサーバーを担い、安全な大容量データ共有を担い、社内のツールのまとめ役を担います。

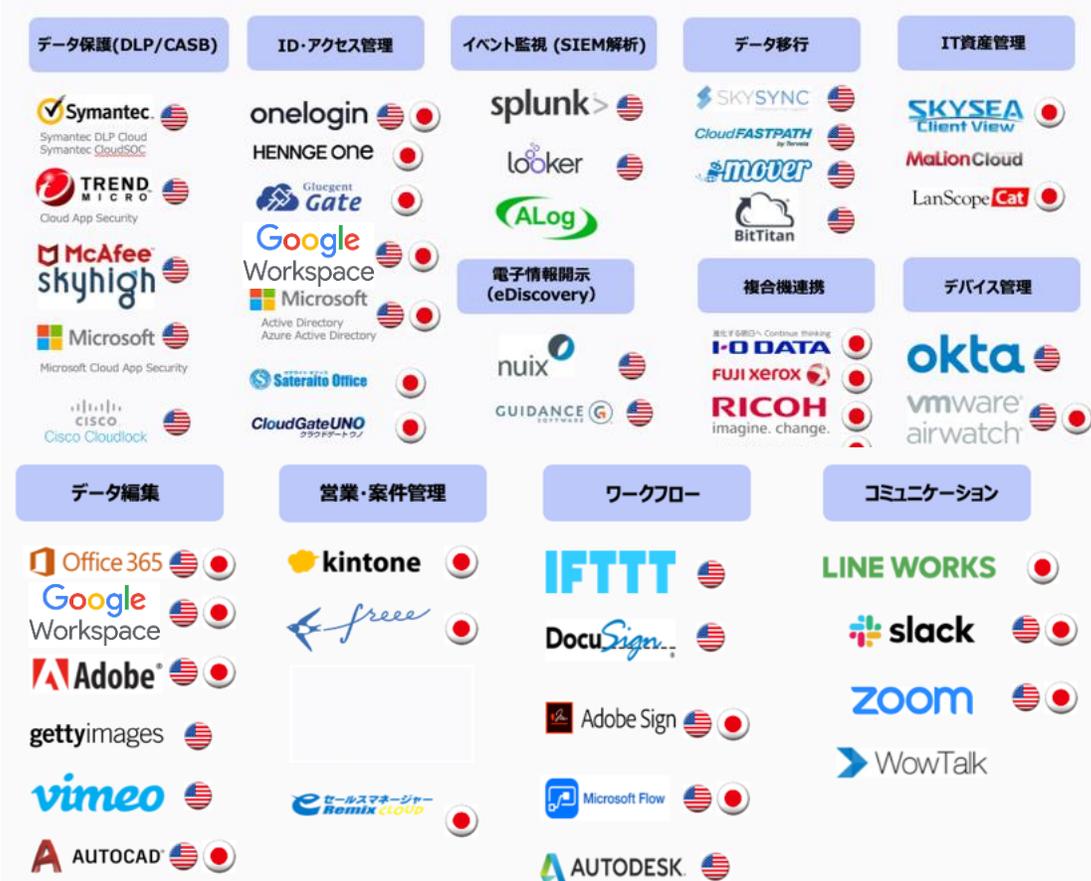
代表的なサービスとも連携済み



多くの国内アプリとも連携済み



30万種類を超えるアプリ・サービスと連携済み



Dropbox ライセンスプラン

※Standard、Advancedは最低3ユーザーからご利用可能。
 ※Advancedはチーム全体で1,000TBまで。
 ※価格は税別。

	Basic (無料)	Standard (¥1,800/月)	Advanced (¥2,880/月)
Dropboxのコア機能			
ストレージ容量	2GB(1人)	5TB(1チーム)	5 TB (1ユーザー)
日本データセンター	—	○	○
バージョン履歴とファイルの復元	30日	180日	365日
スマートシンク(オンラインのみ)	—	○	○
高度な共同作業及び生産性向上			
ファイルロック (排他制御)	—	○	○
共有権限の詳細設定	○	○	○
Dropbox Transfer(コピーを送信)	100MB	2GB	100GB (&Pass可)
無料ユーザーとの容量無制限フォルダ共有	—	—	—
AutoCADファイルプレビュー	—	—	○
ファイルサーバー的なフォルダ階層	—	○	○
強力な管理機能			
ランサムウェア検知機能	—	—	○
デバイスの遠隔削除	—	○	○
2段階認証の要求	—	○	○
シングルサインオン(SSO)連携	—	—	○
ファイル単位の監査ログ	—	△	○
Basicユーザーの利用制限	—	—	—

Thank you